

USバンクローンファンド（為替ヘッジあり）2014-07

設定日：2014年7月31日

償還日：2017年11月15日

決算日：2月、5月、8月、11月の各15日
(休業日の場合は翌営業日)

収益分配：決算日毎

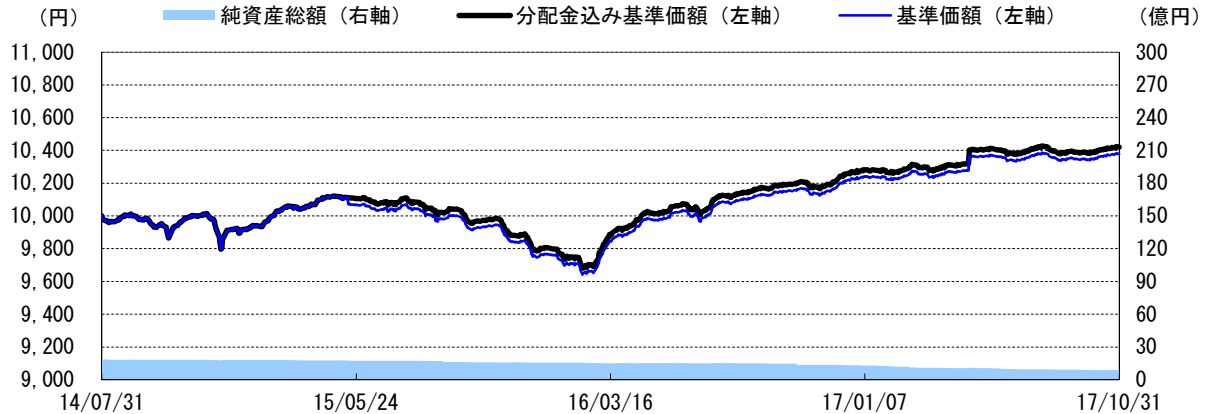
基準価額：10,379円

純資産総額：8.80億円

運用実績

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、
 それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束
 するものではありません。

<基準価額の推移>



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）
 を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。
 ※基準価額は、信託報酬（年率1.70802%（税抜1.5815%）程度）控除後の値です。

<基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
0.31%	0.01%	1.07%	2.11%	4.61%	4.20%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、
 当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上
 のものである点にご留意ください。

<資産構成比率>

PIMCO パミューダ・バンク・ローン・ ファンド A-J (JPY)	98.2%
日本短期債券マスターファンド（適格機関投資 家向け）	1.1%

※マザーファンドの状況です。
 ※対純資産総額の比率です。

<分配金実績（税引前）>

設定来合計	直近12期計	14・11・17	15・2・16	15・5・15	15・8・17	15・11・16
40円	40円	0円	0円	40円	0円	0円
16・2・15	16・5・16	16・8・15	16・11・15	17・2・15	17・5・15	17・8・15
0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向
 などを勘案して決定します。
 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行な
 わないこともあります。

<基準価額騰落の要因分解（月次ベース）>

前月末基準価額	10,347円
当月お支払いした分配金	0円
要	
インカムゲイン	45円
キャピタルゲイン	16円
因	
その他	-29円
当月末基準価額	10,379円

※要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に
 説明するものではありません。傾向を知るための参考値とし
 てご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めるために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

PIMCO バミューダ・バンク・ローン・ファンド (M) のポートフォリオの内容

※ピムコジャパンリミテッドより提供された情報です。
※当外国投資信託における数値です。

<資産構成比>

バンクローン	90.8%
債券	9.1%
現金・その他	0.1%

※対純資産総額の比率です。

<格付別構成比>

格付	比率
B B B以上	14.3%
B B	47.5%
B	35.9%
C C C以下	2.4%
無格付	0.0%
平均格付	BB-

※組入れバンクローンおよび債券の時価総額に対する比率です。

※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

<国別構成比>

国名	比率
米国	87.6%
カナダ	2.4%
ルクセンブルグ	2.3%
英国	1.8%
アイルランド	1.6%
オランダ	1.4%
フランス	0.8%
その他	2.0%

※組入れバンクローンおよび債券の時価総額に対する比率です。

<通貨別構成比 (為替ヘッジ前) >

通貨	比率
米ドル	100.0%
ユーロ	0.0%
英ポンド	0.0%

※組入れバンクローンおよび債券の時価総額に対する比率です。

<業種別構成比>

業種	比率
メディア	9.0%
通信	7.0%
ヘルスケア (サービス)	6.0%
商業サービス	5.9%
ソフトウェア	5.6%
医薬	5.3%
小売	5.1%
その他	56.0%

※組入れバンクローンおよび債券の時価総額に対する比率です。

<ご参考情報>

デュレーション	0.41年
最終利回り	5.20%

※組入れバンクローンおよび債券部分についての数値です。

※最終利回りは信託報酬、手数料および税金などを考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものでもありません。

※最終利回りは、バンクローンおよび債券を満期まで保有した場合の利回りです。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

<バンクローン上位10銘柄> (組入銘柄数: 312銘柄)

	銘柄名	業種	比率
1	ENERGY FUTURE/EFIH DIP TL	公益事業 (電気)	1.6%
2	RESTAURANT BRANDS TL B	小売	1.3%
3	UNIVISION COMMUNICATIONS TL C5	メディア	1.3%
4	DELL INTERNATIONAL LLC TL	コンピューター	1.3%
5	CHANGE HEALTHCARE HOLDINGS TL B	医薬	1.3%
6	AVOLON HOLDINGS LTD TL B2	リース	1.2%
7	CENTURYLINK INC TL B	通信	1.2%
8	PRIME SECURITY SERVICES BOR TL B	商業サービス	1.1%
9	DELTA 2 LUX SARL TL B	エンターテイメント	1.1%
10	SCIENTIFIC GAMES INTERNATL INC TL B4	エンターテイメント	1.1%

※組入れバンクローンおよび債券の時価総額に対する比率です。
 ※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
 ※上記銘柄については将来の組み入れを保証するものではありません。

<債券上位10銘柄> (組入銘柄数: 179銘柄)

	銘柄名	業種	比率
1	BLACKSTONE CQP SEC 144A	各種金融	0.2%
2	SPRINT CORP SR UNSEC	通信	0.2%
3	CLEAR CHANNEL WORLDWIDE SR UNSEC	メディア	0.1%
4	ARDAGH PKG FIN/HLDGS USA SEC 144A	包装	0.1%
5	AVANTOR INC SR SEC 144A	ヘルスケア (商品)	0.1%
6	WYNN LAS VEGAS LLC/CORP SR UNSEC 144A	宿泊	0.1%
7	T-MOBILE USA INC SR UNSEC	通信	0.1%
8	DELL INTL LLC / EMC 144A	コンピューター	0.1%
9	ALTICE FINANCING SA SR SEC 144A	メディア	0.1%
10	T-MOBILE USA INC SR UNSEC	通信	0.1%

※組入れバンクローンおよび債券の時価総額に対する比率です。
 ※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
 ※上記銘柄については将来の組み入れを保証するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めるために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

【当月の市場動向】

当月の米国バンクローン市場は、米ISM非製造業景況指数が12年ぶりの高水準を記録したことや雇用統計が堅調な内容となったことから米国の良好な経済環境が意識されたことを背景に上昇しました。また、米上院による予算決議案の可決を受けてトランプ政権が掲げる税制改革が前進するとの期待感が高まったことや、原油相場が底堅く推移したことなどもプラス要因となりました。セクター別では、小売や通信などが他を上回るパフォーマンスとなりました。一方、金属・鉱業、消費財などは相対的に冴えない結果となりました。

【パフォーマンスとその要因】

当月のパフォーマンスは、保有債券の利子収入を得たことや、バンクローン市場が上昇したことから、プラスとなりました。当月のポートフォリオにおいては、金融への積極姿勢、テクノロジーへの消極姿勢がプラスに寄与した一方、消費財への積極姿勢や小売への消極姿勢がマイナスに寄与しました。

【今後の運用方針】

米国では、賃金と住宅価格の上昇が続く環境下、米国経済の約7割を占める個人消費が牽引役となり、自律的な経済成長が続くことが想定されます。なお、トランプ大統領が掲げる税制改革は今後の米国経済を展望する上でサポート材料であると考えられる一方、10年間で5,000億米ドル程度の小規模な減税に留まるとの見方から、長期的な経済成長の押し上げ効果は限定的と考えられます。また、米政権の政策運営に対する不透明感や北朝鮮情勢などを巡る地政学リスクが残るなか、市場の変動性が高まる可能性にも注意を要します。

バンクローンやハイイールド債券の発行体（貸付先）である米国企業の財務状況はエネルギー等の資源関連セクターを除いて概ね健全な状態にあります。多くのバンクローンには担保が設定されデフォルト時の弁済順位が高いことから、デフォルト時にはハイイールド債券と比較して回収率が相対的に高くなることが期待されます。また、変動利付きであるバンクローンは固定利付きの社債と比較して金利変動による影響を受け難いという特性があります。そのため、金利リスクを抑えつつ相対的に高いインカムを獲得したいと考える投資家からの需要が見込まれます。こうした環境下、長期的なファンダメンタルズに着目した慎重な銘柄選択および損失の軽減が最も重要であると考えており、引き続き、強固な資本構成を有し、高い参入障壁や堅実な成長性によって事業基盤が安定している比較的信用力の高い銘柄を中心に投資を行う方針です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。